

~その人らしく生きるために~ HumanLife



社会医療法人 関愛会 在宅リハビリテーション通信

【夏号 vol.39】

2025年8月発行

毎年恒例！黒島に渡ってきました！

今年はSUPに挑戦！？



求められるディレクターとしての役割



<http://sekiaikai.jp/>



訪問リハビリのどきどき。言語聴覚士も頑張ります。



「第50回全国デイ・ケア研究大会2025in川越」に参加報告！

地域共生社会を見据えた、通所リハビリ「もみの木」の挑戦！

先日、6月27日・28日に埼玉県川越市で開催された第50回全国デイ・ケア研究大会に、もみの木の各事業所から6名の職員が参加してまいりました。今回の大会テーマは「JUST KEEP GOING! next 50th (前進あるのみ)」。デイ・ケア協会のこれまでの変遷を振り返りながら、デイケアの役割を再確認し、これからの**地域共生社会におけるデイケアのあり方**について深く考察する貴重な機会となりました。

今回の研究大会での学びを糧に、私たち「もみの木」は、これからも前進し続けます。ご利用者様、ご家族、そして地域の皆様に、より良いサービスと「その人らしい暮らし」を提供できるよう、スタッフ一同、力を合わせてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



デイケアの役割再確認と「その人らしい主体性のある暮らし」への取り組み

デイケアには、「医学的管理」「心身・生活活動の維持・向上」「社会活動の維持・向上」「介護者等家族支援」という4つの重要な機能があります。もみの木ではこの役割を果たすことで、ご利用者様、ご家族様、そしてケアマネジャーの皆様にご満足いただけるサービス提供を心がけています。

特に今大会で強調されていたのは、「**ご利用者様が本来のその人らしい暮らしを送ること**」への支援です。要介護状態になり、高齢や疾病、障がいの影響で諦めることが増える中で、ご利用者様の「**やりたいこと、したいこと**」を追求し、その目標実現に向けた支援をすることの重要性が再認識されました。マンネリ化した運動や活動にとどまらず、**ご利用者様が主体となって目標を定め**、本来の暮らしに近づけていく取り組みが求められています。



「もみの木」の生き生きチャレンジ！

もみの木の「生き生きチャレンジ」は、まさに「**本来の自分を取り戻す**」「**その人らしい暮らしに近づく**」ための取り組みです。これまで、多くの目標が立案され、ご利用者様と職員が一緒にその達成に向けて活動に取り組んできました。

また、「**生活行為向上リハビリテーション**」も、より実現に向けた取り組みの一つです。事業所内での活動にとどまらず、実際の活動の場であるご自宅や屋外での実地練習を繰り返すことで、目標の実現を目指します。

リハビリテーションは、単に身体機能を改善するだけでなく、皆様の「その人らしい生活」を支える上で非常に重要だと考えています。特に、口腔機能（食べる・飲み込む）や栄養状態は、身体機能の維持・向上、ひいては健康寿命の延伸に深く関わっています。**リハビリと口腔栄養の一体的取り組みが健康寿命の延伸に重要**だとされています。もみの木ではこれらの要素を一体的に捉え、より質の高いリハビリテーションを提供できるよう努めてまいります。

これからも、ご利用者様一人ひとりにさらに寄り添い、「その人らしさ」を引き出すためのリハビリに、一層力を入れてまいります。



大東もみの木から、実践事例を発表！



今大会では、大東もみの木から、帆足（主任 理学療法士）が「生活行為向上リハビリの実践事例」について、演題発表を行いました。日ごろの取り組みが評価され、多くの方々に注目していただきました。

大東もみの木での取り組みを“生き生きチャレンジ”と“生活行為向上リハビリテーション”をキーワードに、口述発表を行いました。私以外にも全部で6演題の発表がありましたが、会場は半数以上の席が埋まり、もみの木オリジナルのチャレンジシステムの効果や全国的にも算定率が低い生活行為向上リハ実施加算の取得をアピールできたことと思います。

質疑応答では、同様に上記加算を算定している事業所から、「目標達成後の卒業に向けた関わりや現状を教えて欲しい」という質問が聞かれました。要支援1・2への個別リハビリや実地練習など手厚い介入が行える生活行為向上リハビリでは、目標達成後の介入内容や頻度の極端な減少によるサービス内容への理解、獲得できた生活行為の継続的な実施支援と能力維持に向けたフォローアップが課題と考え、卒業支援に向けての工夫が戦略的に必要であると感じました。

もみの木ではご利用者様の主体性を尊重し、自己選択や自己決定、自己実現を目指すことができる活動が多く展開されています。全国から見ても先駆的な取り組みが行えていることを実感でき、今後の業務の励みになりました。（帆足）

多職種連携で支えた口腔摂取支援の紹介

今回ご紹介するD様は、令和6年9月より週1回の訪問リハビリを開始されました。目的は、摂食・嚥下機能の改善です。開始当初は、口から何かを摂取することが難しい状態でした。そのため、約1ヶ月かけて慎重に評価を行い、誤嚥などのリスクが少なく、D様に適した食品について検討を進めました。その結果、アイスクリームであれば比較的完全に経口摂取が可能であると判断しました。言語療法では、主にアイスクリームを用いた経口摂取の練習を実施しました。介入から半年が経過し、今後の支援体制についてケアマネジャーの方と協議を重ねた結果、今後は訪問看護師の方が経口摂取練習を引き継いでくださることとなりました。

そのため、今年4月中旬より訪問看護師の方にも実際の訪問リハビリに同席して

いただき、リハビリ中の状況説明に加え、経口摂取を行う際の注意点（姿勢、介助方法、使用するアイスの種類など）の共有、資料の提供なども行いました。

これまでに5回ほど伝達の間を設け、重要なポイントを共有できたことで、5月末をもって訪問リハビリを卒業されました。D様へのリハビリを行うにあたり、週1回という限られた頻度の中で、「少しでもいいから何かを食べたい」というお気持ちに**応える**べく、D様の摂食・嚥下機能に合った食品を見極めるのに時間を要しました。

「アイスであれば継続して食べられると思います。味の選択肢も多く、楽しみながら取り組めますよ」とお伝えした際、ご本人様が見せてくださった笑顔がとても印象的でした。私自身も大変嬉しく感じました。また、訪問看護師の方々への伝達の場面では、いかに**他職種の方々にわかりやすく伝えるかの大切さ**を改めて実感し、今後の業務にも活かしていきたいと思います。最後に、訪問リハビリ終了に向けて他事業所との調整を行ってくださった担当ケアマネジャー様、またリハビリの時間に合わせて同席してくださった訪問看護師の皆様に、心より感謝申し上げます。



言語聴覚士と訪問看護師の連携！



こうざきもみの木便り第39報

発行日：2025年 8月1日
編集・発行：こうざきデイケア・
リハビリテーションセンターもみの木
広報担当：足立恵子・松井峻悟
電話番号：097-576-1212
FAX番号：097-576-1182
E-mail：mominoki_reha@yahoo.co.jp



今年も黒島へ！！

当日は天候にも恵まれ、18名の方が参加されました。澄み渡る青空と透き通る海に囲まれながら、夏のひとときを楽しみました。

現地では、海水浴やお弁当、スイカ割りなど、夏ならではの催しを行い、参加された皆様からは笑顔が溢れていました。砂浜を歩く方や、海に入って涼を楽しまれる方、景色を楽しみ懐かしまれる方等、それぞれのペースで思い思いの時間を過ごし、夏を満喫されました。

また、港での船の乗降もスムーズに行うことができ、日頃のリハビリの成果を発揮する事ができました。目を輝かせながら黒島の自然を満喫する皆さまの姿が、夏の1ページとして心に残る、素晴らしい夏の思い出となりました。



歩みを止めずに ～W様、18年の軌跡～

こうざきもみの木開所当初からご利用されているW様。

当初は「歩行は難しい」と医師から告げられていましたが、ご本人の並々ならぬ努力により歩行を獲得され、13年前に外出プログラム初の黒島へ参加されています。その後の13年間、何度か車椅子の生活に戻ることもありましたが、その度に、リハビリに真摯に取り組まれ、再び歩行動作を再獲得するという奇跡を繰り返してこられました。

そして今年の黒島外出では、再び砂浜を歩いて移動され、思い出の場所で記念写真を撮ることができました。

W様の姿から、「諦めない心」の大切さを教えていただいています。



目標を持って 一歩ずつ ～O様の黒島外出記録～

O様は、一昨年、昨年と黒島への外出に参加され、「また来年も黒島へ行きたい」との思いを胸に、1年間リハビリに励んでこられました。

砂浜や不整地での移動に備えた動的バランス練習や、水中での移動・水泳を目指した体幹筋の強化トレーニングにも意欲的に取り組まれ、その成果が実り、今年も無事に黒島外出に参加されました。

そして今年は、初めての**サップ**にも挑戦！なんと!!職員でも苦戦するサップの上で見事に立ち上がる事ができ、周囲から驚きと歓声が上がりました。

☆新人職員紹介☆ もみの木に新しい職員が入りました！！



4月より入職しました、作業療法士の鶴嶋多聞です！

その人らしい生活の実現に向け、スタッフ一丸となって取り組まれている様子を見て、強い魅力を感じ入職をしました。今後、利用者様の為、私自身の成長の為、人と環境に恵まれたもみの木で頑張っていきたいと思います。よろしくお祈り致します。

※趣味は魚釣りですが、魚釣りをしたいが為に、熊本から大分に引っ越してきたわけではありません(/・ω・)/

【編集後記】

毎日暑さが厳しくなりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。こうざきもみの木は今年も暑い中ではありますが、皆様日々リハビリに励まれています。今回の紹介させて頂いた内容はほんの一部で、もみの木では皆様の「やりたい」を実現できる様、ご利用者様と共にリハビリに取り組んでいます。これからの時期猛暑が続く為、体調管理に気を付けて暑い夏を乗り切りましょう。

水分補給は小まめに(^▽^)/

釣り外出に再挑戦！！その結果は…

以前にも釣り外出に参加したことがあるA様は、その際は竿やリールの操作ができず、職員の介助を受けていました。今回は、自立して釣り道具を扱えるようになることを主目的に、再び「釣り外出」に挑戦されています。

まず棒を使って竿振りの動作練習を行い、安定してできていた為自主トレーニングとして促しました。次に実際の竿を用いた練習では、最初は操作に戸惑う様子が見られましたが、継続的な練習により自信がつき、リール操作や立位での竿振りも安定するようになりました。

釣り外出当日は日吉原埠頭まで出かけました。A様は終始落ち着いた様子で、仕掛けを海に向けて投げる姿は、まるでベテランの釣り師のような堂々とした佇まいでした。

残念ながら今回は魚を釣り上げることはできませんでしたが、A様は「悔しかったけれど海の匂いや景色が心地よく、精神的にとっても良かった」と前向きに振り返り、「秋にもう一度挑戦して必ず魚を釣りたい」と次の目標に意欲を見せていました。

今回の釣り外出は悔しい結果となりましたが、ご利用者様が目標を持ち、心身機能の向上を目指して目頃から取り組まれたことは大きな成果であると感じています。秋の釣行に向けて、今後もご利用者様と共に継続して活動を進めていきます！



秋も頑張ってください！！

あすぴあ大分に行ってきました

久しぶりにプールに行きたい！その意欲を応援する為、リハビリの一環で行ってきました。事前の課題となっていた更衣室からプールまでの移動は、介助者の奥様と一緒に入れる更衣室があり、館内の移動は奥様の付き添いのもとバッチリ★

「プールはもう20年ぶりくらい。来たらやっぱり気持ち良かった。」と笑顔で話されました(^ ▽ ^)

行く前は半ば諦めていた様子でしたが、行ったことで自信に繋がったようで「今度行ってみる」と仰られていました。



釣れるように一生懸命です！！



友人と一緒に萬弘寺に行き、立ってお参りがしたい

一昨年11月から大東もみの木の利用を始め、一度は卒業された坂ノ市ご出身のA様。しかし昨年8月に体調を崩され、今年1月から再利用が始まりました。当初は歩くのも大変な状態でしたが、「また萬弘寺にお参りしたい」という強い思いと、友人との交流を励みに、安全な起立移乗を目指してリハビリに励まれました。その結果、活気を取り戻し、今年は「立ってお参りする」ことを目標に筋力強化に努められました。残念ながら萬弘寺の市は雨天の為行く事は出来ませんでしたでしたが、A様の願いは消えず、6月4日、友人のB様と共に萬弘寺へ。道中、楽しい思い出話に花を咲かせ、到着後にはなんと自力で立ち上がり、お賽銭箱につかまりながらもお参りを叶えられました。「やっと萬弘寺さんに来た」と微笑むA様と、温かく見守るB様。お二人の喜びの声が境内に響きました。A様の「今度はところてんを作って食べさせるね」という言葉に、来年への希望が感じられます。これからも体調を整え、この機能を維持し、来年も萬弘寺へお参りに行けることを願っています。



本番に向けてリハビリにも
気合いが入っています☆

立ってお参り出来ました！！



目標達成！！ほんざーい！！



子ども達の笑顔の為に♪

Aさんは以前、「生き生きチャレンジ」で軽度の麻痺や巧緻性機能の低下がありながらも、見事にダンボールツリーを完成させました。毎年子どもたちの夏休みの工作課題に悩んでいた職員から**工作教室の開催**を提案すると、A様は「いいぞ！やろう！」と快く承諾してくださいました。さらに、「子どもたちが作りたいものを聞いて、図面を準備してあげるよ」と、自ら積極的な意見が聞かれました。A様の思いやりと責任感の強さから、試作品作りの日にはご自宅から必要な物品を持参し、ダンボールを切る作業や図面に線を引く際には「手に力が入らない」とおっしゃりながらも、休憩を挟みつつ**アイデアを出し合いながら**試作を進めてくださいました。その姿を見た他の利用者の皆さんも興味津々で、自然と会話が生まれ、明るい雰囲気広がりました。A様は「子どもたちにはここが難しいだろうから、ここまで準備しておこう」と、細やかな配慮をもって準備を進めています。

現在、Aさんと子どもたちの夏休みに向けて工作教室の準備を進めています。素敵な作品と一緒に作り上げることを楽しみにしています。



素敵なツリーが
皆さんをお出迎え



何が出来るかは
お・た・の・し・み♡



暑さを乗り切る体力を！病院が行うフィットネスジム！新規利用受付中！

ABIES

SAKANOICHI MEDICAL FITNESS GYM

坂ノ市メディカルフィットネスジムABIES

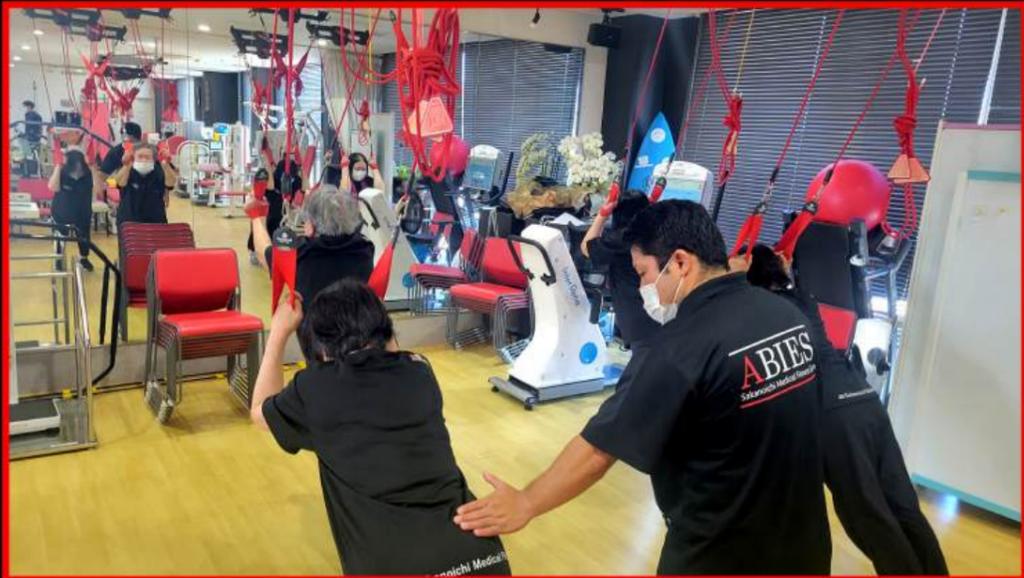


健康運動実践指導者／椎原

トレーナー／新田



レッドコードを活用した集団での運動
定期的にメニューを更新していきます。



【運営目的】

- ① 要介護認定を受けられていない方へのニーズにお応えします。
- ② 要支援から自立になったご利用者様のニーズにお応えします。
- ③ 外来リハビリテーション対象外となった方のニーズにお応えします。
- ④ 子供から高齢者の方まで幅広い年齢層に対し、健康増進を図ることを目的とします。

※医療・介護保険のリハビリと併用してご利用頂けます。

【ご利用者様のニーズ】

- ・ダイエット
- ・筋力強化
- ・膝や腰の痛みの緩和
- ・競技復帰
- ・歩行の改善

※一人ひとりのニーズに応じて運動指導を行います。

【事業所の所在地及び運営場所・連絡先・営業曜日・コースの時間帯】

- (1)所在地：大分県大分市坂ノ市中央1丁目269番地 坂ノ市病院3階
- (2)TEL：080-2792-2221 (担当：健康運動実践指導者 椎原)
- (3)営業日：月・水・金 ※祝日はお休みになります。
- (4)営業時間：15:00～19:00

Aコース15:00～16:00 ・Bコース16:30～17:30 ・Cコース18:00～19:00

料金表

1回券：700円
10回券：6500円
20回券：12000円

1回券の購入でお試し利用も可能です。

※チケットはお知り合いやご家族等で分けることができます！



もみの木活き生きリハ★チャンネル

←こちらからご覧いただけます。



チャンネル登録お待ちしております！

様々な動画を配信しています！

もみの木 オフィシャルブログ「もみの木」の木の下で」

★もみの木や訪問リハビリでの出来事を情報発信中！

アドレス：http://livedoor.jp/mominoki_reha/



QRコード



@mominoki_reha



Instagram
mominoki_reha



facebook
@zaitaku_rehabilitation

もみの木 リハビリ 検索